

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		55	0	0	0	45	100
総合力指標	知識・技術力	35	0	0	0	30	65
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	15	15
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験（筆記試験）を行う。講義中に提示したキーワードを回答させる設問、また習得した知識を活用して意見論述を行う設問を課す。配点 55 点満点の試験とする。				研究室にて答案を返却する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回、授業後に「授業で得た知識に基づき回答できる質疑」を意見記述するリアクションペーパーを提出してもらおう。その内容（思考）の質により、毎回 1 点または 3 点を提供する。全 15 回の総配点は 15 点~45 点となり得る。				Teams にて取扱い、コメントを付して返却する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	本科目の担当講師は、臨床心理士及び公認心理師資格を有し、21 年の心理相談業務の経験がある。						
実践的授業の内容	医療分野を主とした現場経験に加えて、犯罪・非行分野でのコンサルタント経験を活かして、司法・犯罪分野における心理学的意義を実感できる真摯な見識を学生に教授する。						
そ の 他	登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われ得る。						